

武雄市議会だより

(Web版) 始めました

# 栄八通信

http://ei-8.info/

第52号

H25年1月4日発行



武雄市議会議員 宮本 栄八  
TEL・FAX 23-0750  
携帯 090-5083-0793

## 図書館どうなる？

### 蘭学館の場所で 有料レンタル誰の為

12月の追加議案で、「武雄市図書館・歴史資料館設置条例の一部を改正する条例」というのが提案され、可決した。(私は反対した。)内容は、現在の蘭学館が無くなり、その隣にあった企画展示室とメディアホールを「蘭学・企画展示室」にするとの内容。

賛成の議員は、理由として、隣に移って広くなるので、充実して良いのではないかと主張。

しかし、私の見方ですれば、CCC社に、有料のCD・DVDレンタルの場所を提供する為に、現在の蘭学館の資料を移すとは思えない。

しかも、歴史資料は市役所の新庁舎が完成すれば、さらにそこに移動させるとの市長の発言もあっている。

今回は、条例の一部の変更のみで予算については、まったく示されていない。しかし、蘭学館を廃し、隣の企画展示室等に移し、さらに、新庁舎の完成するH27年度に移動させると、騒動で金ばかりかかり、税金の無駄と考える。

また、以前から、図書館問題に反対する理由である「民業圧迫」である。現在、市内には、CDやDVDのレンタル店は2店あり、また、書店やレコード店も複数ある。そこにわざわざ、市の施設を貸し出し、営業妨害をして苦しめる必要はない。

それに対し、市長は、「書籍については、新刊本は置かない。CDなどは、クラシック音楽など、一般のレンタル店にないものを揃えるので民業圧迫にならない。」との発言があっていた。

ほんとうに、それが守れるとは思えない。それは、普通売上げの大半は、新刊や新譜であるので、CCCの経営が成り立つとは思えない。

また、この蘭学館をCD・DVD有料レンタルに変更する理由を市長は、市民へのアンケート調査の結果を取り入れたものとの説明をされ、正当化される。

そのアンケートとは、「CD・DVDの充実に期待するか？」の問い。期待するが39%もあったと云う。

しかし、私から見れば、充実に期待する人の意図するところは、現在無料で貸し出しているCD・DVDの充実に、一般の有料レンタルの意味ではないと確信する。

元々、この図書館に関する1000人アンケート調査自体も、疑問をもっている。普通、市民アンケートは、無作為抽出し郵送する。

今回、図書館やゆめタウン、公民館などで職員の対面方式で、本音が出ていく方法ではないかと思える。

また一方、この条例改正が、佐賀新聞で報道され、市長は反発し、佐賀新聞は取らないと議会で発言。

今後どうなるかと思つたが、次の日には、関連記事を見て撤回するなど、議会外での対立もあった。

また、その新聞報道後、市民の方から、「図書館の改修後改めて、蘭学館を見るつもりだったが、今度工事が終わって4月に再開館する時には、もうなくなると聞かされた」との質問があった。確かに、閉館前に蘭学館の廃止を明示しないと、最後にとか、一度見ようと思う人からは、だまされた感じになる。

また、今回の条例の施行は、H25年の4月1日からなっていて、4月以前に改造して開館するのは、条例施行の前のフライングになるのではないかと思う。



## 太陽光発電と市

自民党は、民主党の原発政策を見直す動きもあるが、市長は、「最終的には、我が国は脱原発へ向うべき」「電力の地産地消を進め我が国の再生可能エネルギーの利用促進に寄与したい」との方針。

もし、そうであるならば、もう少し、具体的・計画的に進めてもらいたいと思う。

若木町本部に、九電工様によるメガソーラーの民間進出があつたがその他、市独自の施策が不明確の様に見えるのは私一人ではないと思う。

まず、若木町に作る計画の「太陽光村」分譲も足らぬ。学校改築時のパネル設置も家庭用程度。

また、太陽光パネル設置に対する市の補助金も、5万円が限度と他市の補助金よりも少なく、また来年度は継続されるかも不透明。

## 武雄保育所の動向と特別保育

いろいろあつたが、市立、武雄保育所の、H25年度の民間移譲業者の決定、H26年度に、民営化。H27年度より、移転地での開園のスケジュールは明確になつてきた。

また、移転先は、現地より近い所、具体的には、武雄小学校区内の方針も示された。

一方、私が一番気にしているのは、元々、武雄保育所を公立として残すこと、これまで来た理由は、特別保育は、公立で責任を果たすとの考えからであつた。

そこで、①障がい児保育については、民間各園で対応可能。②病後児保育については、新園か、市内病院への併設を検討中。③休日保育について私は、一時保育の形でなくサービスマスター等の親の為に、日・休日通常保育の形の委譲を望む。

## 農排料金値上げ 県内1位に 反対した理由

5年前は、市民や各種団体などからなる、行政問題審議会でも広く検討された、公共料金だった。

しかし、今回、提案された、農業集落排水の使用料金の値上げは市民への情報も、ほとんどない中で決定してしまつた。

今12月議会に議案がいきなり出た為、一般質問すらできなかった。

近年、武雄市議会では、議案として出された案件について、色々議論することは、『議案の事前審査』に当たるとの理由で、一般質問も制限される。他市では、特に制約は強くないとの話。

本題に入るが、農排の使用料金が、現在、水道20m使用の方が、月額3255円から3990円に上がり、735円増。年間8820円の負担増になる。

値上げの理由は、

- ① 公共下水道や戸別浄化槽の料金3990円に統一や公平化。
- ② 維持管理費の92%を回収し、受益者負担の原則を推進。

たしかに、これだけを見ると正しいとも見える。しかし、見方を変えれば、現在、県内一高かつた、武雄市の公共下水道料金に、さらに、農排料金も県内一の高値に合わせたいわけ、もう一歩深く考える必要がある。

## 給食の民間委託 市の独自賃金導入へ

現在、武雄市は、旧武雄市の7町の8小学校、3中学校と、山内・北方の給食センターの13ヶ所を5業者に委託。一番多く受託しているのは、(株)魚沼の5校。

一方、他議員の一般質問の中で民間委託された、業者に、勤務する従業員の賃金が安すぎるのではないか?という指摘があつた。

江北町においては、時給、800円以上を前提に、給食の民間委託が行われているとの話。

私も、民営化などを、推進しているが、気がかりな点でもあつた。

今年、朝日小など4校の3年間の民間委託の入札があるが、その中で時給の基準が示されるものと思われ、県の最低賃金653円に對し、どの程度が適当か、その基準や判断が注目される。

**ふしぎ**

し尿くみ取り料金 17年間1円も上らず

下水道料金が、県内一の高料金になる一方、くみ取り料金は18リットル、170円と、17年間、消費税が5%になつただけで、1円も料金改定がない。

私が、H7年に議員になつた時に、し尿料金値上げが大問題だった。H元・3・5年と改定されて、鹿島市などは、業者のくみ取りボイコットなどの実力行施にそなえ市に、中古のバキュームカーを用意するなどして来た。私も強引な値上げには反対したが、週休2日などの、職員の待遇改善と言ふことで賛成したと思う。

その時の理由から言えば、値上げになつていないのは、17年間は待遇改善がされていない事になる。県内の料金の状況を見ると、下水道料金は県内一高いが、くみ取り料金は、逆に県内で2番目に安い。私はこれで事業が成り立つのは、くみ取りでの不採算を、条例で規定のない浄化槽管理事業でうめ合せていて、だから、他県にくらべ、浄化槽管理費が高くなつていゝのではないかと、考えてしまつた。

今回、一般質問で、くみ取り料金改定についてたずねると、業者からは、3年くらい前から、改定についての要望は出されていて、交渉中と言ふが、いつまで延びて、いくつもののか。官は値上げして、民は保留では変と思ふ。

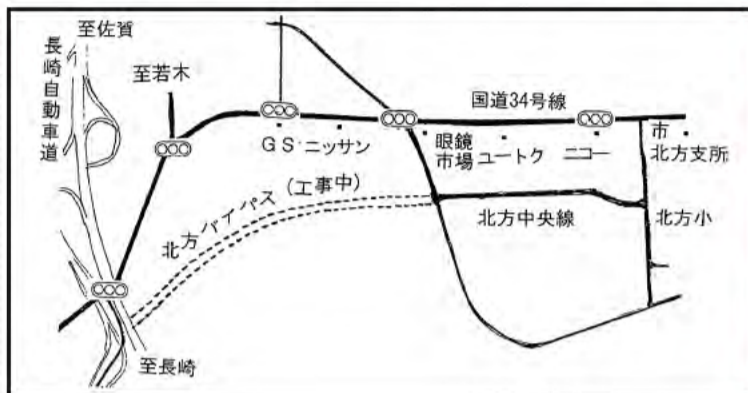
私の考えは、以前から言うように、逆に一度、農排に、公共下水道料金を下げて合わせ統一する。

そして、現在、かかつた費用を積み上げる、「一括原価方式」的な維持管理費をもう一度、再点検しコスト削減してから、料金を上げるべきと思つている。一市二町合併して県内一高いでは意味がない。



# なんとがせんと いかにん 北方バイパス

北方町大崎のパンコ店付近の朝夕の交通渋滞は激しい。現在、国が武雄バイパス工事の時点で、すでに購入していた、土地を利用して、南の田んぼ方に渋滞緩和の道路を整備している。工事は、今は、地盤改良が中心で道路のように見えないが、H29年には完成する。ただ、現在の実施計画では、これが、「眼鏡市場」横の交差点で、34号線に合流する。そうすると、逆Z型に行くことになり、せつかくの整備のわりに不便。また、先の北方中央線を通り、北方支所横に出る所は狭い状況。そこで、二コー付近で、34号線にスムーズに出る道の整備を提案。それには、答えなく、逆Z型の市道が軟弱で、その補強を国にお願している状況との答えだが、やはりH29年開通までに何らかの対応が必要。



# それどころか 田代酒造跡を解体

田代酒造跡を旧武雄市の時に購入した。場所は、武雄温泉近くの新町の長崎街道にある。菊白露の醸造元であったが、製造は、30年以上前に停止し建物だけ残っていた。20年くらい前に、まちづくり運動の中で、武雄市の繁栄は交通の要所である事との再認識から、旧長崎街道保存整備が他市に先がけ、温泉とおみやげの宮野町の街道整備が進められ、新町においても、路面整備を実施。今回の田代酒造跡も、当時の所有者である大関酒造から、約8500万円で購入した。今回、市長は、田代酒造跡の解体の表明の後に、『なぜ、ここを8千万円も出して購入したのか、当時の関係者は、説明すべきだ...』との主旨の怒りのような発言。しかし、佐賀のばいばあちゃん口ケの時は、重要な口ケ場所として活用。その後のその前のままで、新しいアスファルト道路を、土の道に変えるとの意向も示されていて、価値はあると認識だったので、なかつたかと思う。それか、手のひらを返したような評価に、地元の人にはびっくりされていると思う。旧武雄市の時は、旧長崎街道を偲ばせるものが少なく、当時の「馬つなぎ金具」など残っていたため、温泉と長崎街道の連携を期待して購入した。しかし、最初は建物の賃貸。その後、所有者が土地を他に売却と同時に解体の意向だったため、やむを得ない購入と思う。私は、当時賛成したが、土地が3651㎡ありそこを駐車場として貸し、その収入で、建物の修理をして観光に歴史教育に役立て、最悪土地を売れば、市に大した損は出ないとの判断。今回、具体的に調



田代酒造跡。横と裏に駐車場がある。

# 西部広域ゴミ処理 入札参加は1社のみ

平成27年、10月から、杵藤地区・伊万里市・有田町のゴミを合同で処理する計画。事業の中心である、ごみ処理施設建設工事の入札が終了本格化。ただ、私が以前から、言っていたが、処理方式を限定すると入札業者が限られるので選択肢が少なくなることを心配していた。やはり、入札結果を見ると、1社のみ入札参加になり残念！入札額は、約132億円で、それを含めた①本体工事が約140億円、②用地購入等約2億円、③造成工事10億円、④道路整備等約7億円など、総額約161億円見込む。一方、処理施設の金額も大切だが、20年間の維持管理費や今回のシャフト炉方式は、コークスなどの助燃材も必要で、その維持と云うか運転費も重要な問題。そんなわけで最近では、DBOという、施設と運転費込みの入札も多く、私もそちらを望むが、今回、西部組合では分離してあり、これから、方針を決めて発注するようだ。また、焼却灰は、高温でガラス化、無害化して石状のジャリにして販売するが、飛灰(ひばい)と言って、バグフィルターにたまる不純物灰は、埋立てが必要。ただ、当面、西部組合は、埋立地は作らず現存田町の最終処分場に埋めさせていく方針。だから、今後最終処分場建設費用も見込まれる。再度、建設場所を説明すると、若本町の先の伊万里バイパスのJA松浦の里物産所の左手の谷間。その進入道路の土の一部を、朝日の杵藤クリンセンターの覆土に持ち込む計画になっている。

# 庁舎問題の 今後の情報

現在、コンサルタントに、307万円を提案を発注中。までは、前号で伝えた。今回、一般質問で、主な原資と考える、合併特例債の活用期限がH27年から、5年間延長され、H32年までになったので庁舎建替の時期についての見直しを問うと、市長は、建替は、延ばさないとの答で、H27年度となれば、あと3年しかないので、計画を着実に進める必要がある。また、近隣住民は、庁舎そのものよりも、移転した場合の跡地がどうなるかへの関心も強いと、その跡地活用もたずねたが、現在は考えていないとの事。ただ、市民には、今年、3月頃に具体的な内容を示すとのこと。

# どうなるのが 温泉配管の新設

今12月議会の、他議員の一般質問の答弁で、注目する物があった。結論的に言えば、現在、武雄市が保有する、保養村内の源泉からの湯を、市街地の温泉街まで配管を布設する内容。その途中に、武雄温泉駅を経由し、そこに、(足湯など)の関連施設も整備する提案に対し、市長も賛同され、実現の可能性が出て来た。市の保養村の源泉の活用状況を見れば、17%程度しか利用はない。現在は、保養村や、その近くのセントユーリ方面のみの配管。一方、市街地の温泉街は、公衆浴場を経営する武雄温泉(株)や、東洋館などの旅館が戸別に源泉を保有。ただ、これ以上、源泉を掘ることはできない。一方、武雄は温泉地と言いつつも、湯けむりもなく、温泉情緒がないと言われる。そんな事から、何かしら演出やしかけは必要と思う。だから、この給湯管布設ができれば、それに越した事はない。ただ、賛否を決めるには、布設費用や、維持管理費の計算も必要なので、早く概算を出して具体的な検討をしてもらいたい。また、給湯の利用先として、高齢者等の福祉施設や宿泊施設などにも配管する話だが、私の考えでは、本管から、取り出せる各個人世帯にも給湯しないと成り立たないように思う。

# 新幹線に変化・アリ?

長崎新幹線は、なぜか民主党政権の中で、諫早-長崎間が、新幹線区間に採択され長崎県内フル規格になった為、逆に、開業がH29年からH34年に5年間延びた。一方、佐賀2区の今村代議士は残る、新島橋-武雄温泉間のフル規格整備を推進されている。そこで、安倍政権での動きが注目される。ただ、佐賀県は、費用負担の面から慎重。という状況。私は、議会の「新幹線とまちづくり委員会」に入っていて、フリーゲージトレインの実証運転をしていて、四国の玄関である香川県の多度津に行政視察に行った。運転車両と客車の2両のみで、車両工場との間を何度も往復運転し耐久性をたしかめる最終段階。試乗したが、カーテンを開ける事を禁止されていて、わずかなスキ間から見るが、どこを走っているのかわからない。ただ、フリーゲージ車両を佐賀県内一部の為に作るより、秋田や山形新幹線のような方が将来的に良いと思った。

【前号の訂正とおわび】  
・国保税の記事タイトル、(誤)50000万円を50000万円に訂正。  
・オルレの記事の産業委員会の行政視察延期の所の「通訳が行けないのが、主な理由」を「理由の一つ」と訂正しおわびします。